市民のひろば

わたしのやりたい施策

移動農業委員会の開設を

竹村保夫（下田村）

厳しさの増す農業とよくいわれます。そこで私は南国市農業委員会事務局長としてやってみたいことを発表してみたい。

農業委員会は農業委員会法にもとづいてその業務を営むことになっています。その農業委員会法第一条の目的として、この法律は、農業生産力の発展および農業経営の合理化を図り、農民の地位の向上に寄与するため……とあることにもとづくのと、わが南国市は西日本一の田園都市とうたった唯一の農村都市であります。しかし経済成長に伴う工業開発が進み大きく変ぼうしょうとしています。この時期にあたり農業委員会の一大企画として市内一円すみずみまで対象とした移動農業委員会を関係機関の協力のもと左記のように実施し農業者と直接協議の場をもち行政に反映してゆきたいと思います。

南国市移動農業委員会実施計画

㈠目的

わが国の経済は国際的な諸情勢の激しい圧迫をうけているが、農業もまたその例外ではありません。このような情勢のなかにあって農業者は農政の変りに路頭に迷っています。こうした時期に農業者の切実な声をきくことに重点を置き、諸問題に対処できるよう関係機関の協力のもとに指導と啓蒙を行なうため積極的に各地域に出むき、農業者と膝を交えて、地域の農業改善の方向、農家の意識調査、農業改善の営農設計および生活設計を助長さし、あわせて建設的なる意見を取りまとめて、市、県、国に対し申広い感点にたって建議しようとするものであります。

㈡実施内容

▽開催予定期間、四十八年〇月から〇月

▽開催予定場所、各農業協同組合会議室ほか

▽出席予定者、〇農業委員会側／会長、同職務代理者、県農業会議員、各部会長、地区農業委員、事務局長外担当職員。〇市長部局側／農林、建設、商工水産、市長公室の室長、係長、担当職員〇外部機関／普及所、農協、共済担当部課長

▽説明事項、左記項目を主体として地域に適合するものを適宜選択する。㈠農業の情勢について――激動する農業情勢についてその大要を説明する。㈡南国市の農業政策について南国市の計画している都市計画、市内農業振興策の説明。㈢農業振興地域整備事業の説明――農地利用計画、近代施設などについて。㈣農業振興地域整備計画、融資計画など。㈤農業委員会の新規事業について――就業近代化対策事業、農業金融制度資金、家族協定農業などについて。㈥農業者年金について――未加入者に対する加入の呼びかけ。㈦情報宣伝について――広報紙、農業新聞、家の光、地上などの利用を通じて農家とのつながりを深める。㈧農協、共済組合の合併について

▽質疑応答

盲点　焦点

なくそう子供の事故
変身術を
教えます。
私塾ジャンボーグA
児童・生徒殿
トンマ（久礼田）

つくし

古いことばというより、なつかしいことばと言った方がふさわしいかもしれない。私は職業柄老人の方と話す機会が多い。「今度来る時、モチを買うて来てくれんかね。」それは小鳥の話をしている時にたのまれたので、食べる餅でないことはわかるが何か耳なれない感じがした。ふと幼い日のことが思い出された。戦死した兄が、目白をおとすのに、枝をりぐっておとし木を作り、くるくる廻わしながらモチを塗っていた。そばにしゃがんで兄の得意話をよく聞いたことであった。「つとばさみを買うて来てくれんかね。」二、三回聞き返えして、ぴん止めであることがやっとわかった。同僚に聞いてみる。誰も知らないという。明治十九年生まれの母が、日本髪が好きで、もっとい、手がら、ぴんつけなどよく聞いたことばであった。「おばあさん、この半天、何とも言えん、えい手さわりじゃねえ。」「これかね。これはふたこよね。わたしが小娘の時に母が作ってくれた一張羅じゃあったけんど、もう半天にして着よらあね。」七十六オのおばあさんも、そんな若い日の話をする時は生き生きと若やいで話に熱がこもって来る。まにあいぢょうちん、ひともじ、あさうら等々、何気なく話し合っている時、ふと聞きとめたこんなことばに感傷する自分は、やっぱり大正生まれのせいかもしれない。

古いことば

北村百合（田村）

広報短信

■今月号から「広報なんこく」が月2回発行になります。このため〝親子クイズ〟は、15日号にのせることになりました。ご家族で考えて、どしどし応募してください。

■応募枚数は、毎月80～100枚あります。くじ運が悪く、一度も当選しなかった人はありませんか。その人には、本当にお気の毒です。〝私は五回以上応募したのに、残念賞にも入らない。そんな人には特別に〝残念賞〟を送ります。広報委員会まで、ハガキでお知らせください。

■クイズに応募されるときはハガキでどうぞ。書留で応募される人はありませんが、速達や封書の人があります。当選しなかったときは、本当にお気の毒です。

■「当りますように―。」「当れば〇〇を買います」や、マンガ、新庁舎の絵などを書いて送ってくれる人もいます。見ていて大変うれしく思います。〝親子クイズ〟をかわいがってください。

■庁舎落成記念の1万円クイズはいかがでしたか。

当選者は、4月15日発行の広報で発表します。お楽しみに――。

献血ありがとう

毎月二十日を「愛の献血日」と決めて七十回、市民のみなさんのあたたかいご協力をいただきました。

二月の献血は、ミロク製作所で次の人たちから採血していただきました。（敬称略）

中井義一、織田浩昌、岡崎忠士、高橋衣代、宮島由美、武田治、宮田正郎、武村哲夫、竹内清実、山崎テイ子、高橋豊、川田修一、野町一夫、石川功、正木功、石川良尾、安並護、岩崎正夫、宇賀敏雄、吉本寛巳、高田輝男、稲垣雅章、井本健太郎、押岡京子、青木紀夫、溝渕真澄、西岡照夫、吉田智、山崎国義、田村義通、小野山純生、中村日出夫、依光豊生、箭井忠志、清遠隆、西川忠洋、片岡正剛、宮育子、川添美子、佐野智山、西岡順子、三本和忠、橋田和典、宮田政俊、畠山里子、竹島美代子、伊藤紘子、西川和男、安岡光雄、門田明

ゴミの収集委託で市職員の人事異動

市は、二月一日付で一部の職員の異動と新採用者を発表しました。

これは、二月十二日からゴミの収集を全て業者に委託し、市が直接収集しなくなったためのものです。なお、四月一日付で、機構改革にともなう大幅な人事異動が行なわれる予定で、四月十五日号の広報でお知らせします。

【異動】建設課＝山崎栄枝（公害環境課）失対副監督、森田義英▽水道局＝山本二郎、堀内重男（公害環境課）▽公害環境課＝近森正一（建設課）

【新採用】税務課＝松本義孝（大埇）

島本直治さんが法務大臣の表彰

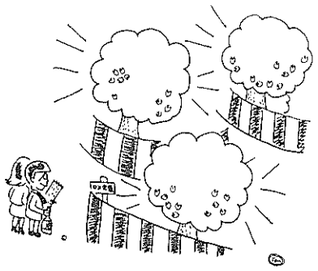
島本直治さん（亀岩）は、人権擁護委員として、人権相談や永年人権擁護活動に尽した功績が認められ、全国で三十八人、県ではただ一人の法務大臣表彰を受けられました。

市の人権擁護委員は、島本さんのほか、山崎喜一、佐竹安意、浜田弥芳さんが、人権問題などでお困りの人の相談に応じています。

広報なんこく県で特選に

四十七年、高知県広報コンクールで〝広報なんこく〟は、二年連続して特選に選ばれました。

特選に選ばれたのは、四十七年九月号（百三十九号）でした。なお、広報写真の部で「あっ、青になったよ、おまわりさん」（四十七年八月号、表紙写真）も特選になりました。入賞は、市民のみなさんのご支援ご協力のたまものと深く感謝しています。今後もご意見ご希望をお寄せください。



買い占め

チェッ、どこも買い占めてやがる。

きたむら　とみお（植野）